



# あおばイコット通信

## ~No.53~



平成 26 年 3 月号  
 <編集・発行>  
 青葉区明るい選挙推進協議会  
 <事務局>  
 青葉区総務課統計選挙係  
 TEL: 978-2205  
 FAX: 978-2410



## ~「青葉区民まつり」でフランクフルト販売~

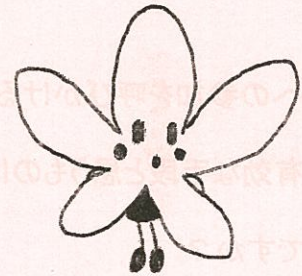
### 明推協の活動を PR



平成 25 年 11 月 3 日文化の日、「青葉区民まつり」が開催され、青葉区明るい選挙推進協議会は毎年恒例の模擬店を出店して、明推協の活動PR、選挙クイズ、明推協アンケート、フランクフルトの販売を行いました。



▶フランクフルト販売の様子



▶えら坊の選挙啓発活動の様子

当日は、総勢 40 名の推進委員・推進員の皆様に選挙啓発やアンケート実施などで、ご活躍いただき、大成功を収めました。また、市ヶ尾中学校の生徒会役員の皆さんが青葉区の選挙マスコット『えら坊』や横浜市の選挙マスコット



『イコット Jr.』に扮し、明推協の活動を大いに盛り上げてくれました。

また、当日来場された区民の皆様に、明推協の活動に関するアンケートを実施しました。以下はそのアンケート結果です。H23年度のアンケート結果に比べて、投票参加を促すための有効的な手段として、インターネットを用いた方法や、若年層啓発に向けた取り組みが良いと答えた方が増えています。

## 明るい選挙推進協議会アンケート結果

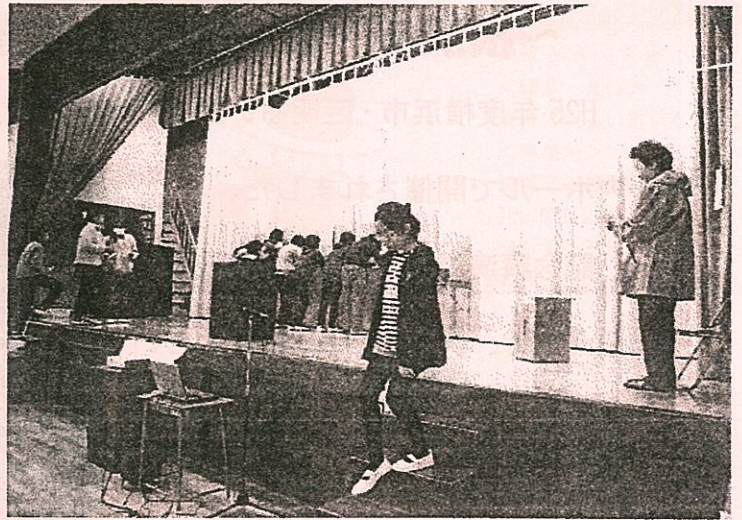
質問	回答	H25年度 アンケート 結果	H23年度 アンケート 結果
明るい選挙推進協議会が行っている活動で知っているものを教えてください！	選挙時の駅頭啓発 (ティッシュ・チラシ配布、のぼり旗)	285	310
	区内小学校で選挙の出前教室を実施	44	20
	知らない	134	168
投票への参加を呼びかけるために有効な手段と思うものはどれですか？	市・区等のポスターや広報紙	172	229
	インターネット(市・区等のホームページ)	123	39
	小学校への出前授業による若年層に対する啓発	126	53
	街頭キャンペーンや広報車	129	145
	メディアへのPR(新聞・テレビ・ラジオ等)	155	213

## 青葉区明るい選挙推進協議会

### ～せんきょフォーラムを実施～

青葉区明るい選挙推進協議会は、今年1月から2月にかけて平成25年度のせんきょフォーラムを、区内の5つの小学校（榎が丘小、鴨志田緑小、荇子田小、市ヶ尾小、さつきが丘小）で実施しました。

せんきょフォーラムは小学校の卒業式を控えた6年生を対象に明推協が毎年実施する、選挙の重要性と投票の仕組みについて模擬選挙を通して体験的に理解してもらう特別授業です。6年生は卒業前の給食のデザートメニューを自分達の投票によって決定します。



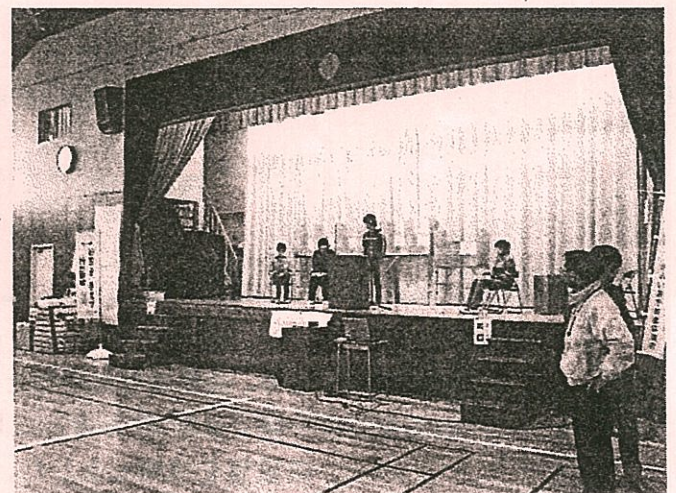
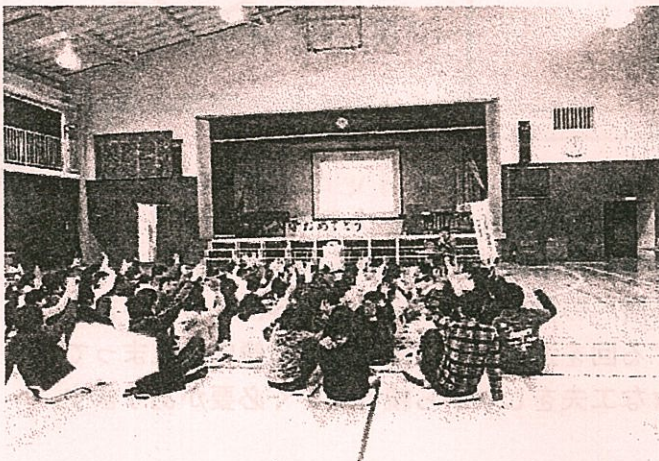
▶デザート投票の様子

投票の際に使われる投票用紙（プラスチック入り）や器材は、実際に使われるものと同じで、子供達は投票箱に投入された投票用紙が自然に開く様子や票数を集計する機材に大変興味を持ったようでした。今年度の5つの小学校でのせんきょフォーラム参加児童数と実施日は以下の通りでした。

- (1) 榎が丘小学校6年生 136人 (1月22日(水))
- (2) 横浜市立鴨志田緑小学校6年生 56人 (1月24日(金))
- (3) 横浜市立荏子田小学校6年生 88人 (2月12日(水))
- (4) 横浜市立市ヶ尾小学校6年生 113人 (2月17日(月))
- (5) 横浜市立さつきが丘小学校6年生 128人 (2月18日(火))

今年度は、合計521名の児童がせんきょフォーラムに参加しました。

▶選挙制度について説明の様子



▶デザート演説の様子

## ～横浜市・区明るい選挙推進協議会大会の開催～

H25年度横浜市・区明るい選挙推進協議会大会は平成26年1月27日(月)に横浜関内ホールで開催されました。

記念講演では、金田一秀穂氏をお迎えして、『心地よい日本語』というテーマでご講演していただきました。



▶市区大会の様子

## ～青葉区明るい選挙推進協議会研修会開催～



平成26年3月4日に、青葉区明推協推進委員・推進員を対象に研修会を開催しました。挨拶や選挙啓発活動報告を行ったのち、横浜市立大学 国際総合科学部 和田淳一郎氏をお迎えして『若年層啓発』についてご講演していただきました。

【講演の内容】 1.なぜ投票率向上を目指すのか？

2.投票率の現状

～世代別投票率に着目して～

3.なぜ若年層を問題にするのか

4.なぜ人は選挙に行くのか

5.選挙啓発について

当日は、推進委員・推進員合わせて40名が参加し、若年層啓発の大切さを改めて感じたとの声をいただきました。

### 編集後記

- ▶ 明推協では昨年、選挙時啓発活動として区内の居酒屋8店舗・カラオケボックス1店舗・地区センター等(合計28カ所)に「桐蔭横浜大学の学生達によるデザインのトイレットペーパー」の設置を依頼しました。若年層への投票を呼び掛ける内容になっています。
- ▶ しかし残念ながら、横浜市全体に共通する回を追っての投票率の漸減傾向は止まっていません。これからも選挙啓発活動は様々な工夫をしながら続けていく必要があります。

